

【広報部】第5号 文化部講座 「救命講習」

9月9日（火）救急の日に行われた「救命講習」についてお知らせいたします。

中央消防署の講師の方から胸骨圧迫・AED使用の手順等について学びました。まず最初に、脳に酸素がいなくなると4分で取り返しのつかないダメージがあり心臓がその後動いても元には戻らないこと、救急車を呼んでから到着まで平均10分かかると説明されました。救急車が到着するための繋ぎとして、心肺蘇生法やAEDの使用が重要であることが分かりました。

まずは心肺蘇生法の実践から。訓練用の人形を使い、具体的に胸骨圧迫（1分間に100～120回）と人工呼吸を交互に行う方法や、その際に気をつける事の説明を受けながらやってみたところ、思った以上に力が求められ長い時間続けるのが難しく、周囲の協力が必要だと感じました。

AEDの実践では、電源を入れると自動音声流れ、その指示通りにすれば簡単に使うことが出来ました。講師の方から、AEDは指示と違う事（倒れた本人から離れるよう指示が出ているのに触れる等）をしない限り正しく使える素晴らしいものであるとお話がありました。

今回講習を受けた人には「救命入門コース参加証」が配られました。一度講習を受けても時間が経つと忘れてしまうので、定期的にぜひ受講してもらいたい、とのことでした。

最後に、このようなお話がありました。ぜひ皆さんにも講習に参加したり、自分にも出来る事があると知っていただきたいです。

【目の前に大怪我をして命が危ないような人がいたら、何も出来ないではなく、誰でも何かが出来ることが知って欲しい。意識が無さそうに見えても、耳は聞こえているので、大丈夫ですよ、救急車がきますよ、と声をかけるだけでも、本人の生きる意欲にプラスになる。】

荒幡小学校には職員玄関前と保健室にAEDが設置されているそうです。お出かけの時など、ぜひAEDの設置場所をチェックしてみてください！

荒幡小学校PTA広報部

